

県政特集 高齢者福祉



大田原市シルバー人材センターの家具リサイクル作業。「直せばまだまだ使えるものが多いね。仕事を覚えるのは大変だけどやりがいがあるよ」と、相馬さん(左)と木村さん(右)

大田原市シルバー人材センターでは、「広域クリーンセンター大田原」から家具リサイクルの仕事を今年度から新たに受託。粗大ゴミとして運ばれてくる家具を修理しています。会員の相馬留男さんは、もと大工。「その経験が役立っているね。この他にも、いろんな仕事ができるよ」と話します。



アジサイ道路を守る老人クラブの皆さん。「来年、アジサイがきれいに咲いたら見においでね」と声をかけてくれました

「ここは、やる気さえあればいろいろな仕事ができる場。第二の人生を築ける場です。多くの方の力が生かせるよう、多様な仕事を引き受けていきたい」と大田原市シ

いきがいのある豊かな人生のために

県では

「アジサイ道路は町の観光スポットの一つ。観光客も増えるなど、町の活性化にもつながっています」と話すのは、喜連川町老人クラブ連絡協議会の事務局をつとめる河内さん。地域の仲間が集い、スポーツやボランティア活動を積極的に展開する老人クラブ。その活動が、地域を支える大きな力となっています。

県内各

県内の各シルバー人材センター、老人クラブでは、随時会員を募集しています。詳しくはお問い合わせください(欄外参照)。

(次ページでは、高齢者福祉を支えるボランティア活動をご紹介します)

**仕事を楽しむ**  
**シルバー人材センター**  
働く

地域の企業や団体、個人などから高齢者に適した仕事を引き受け、会員に提供するシルバー人材センター。六十歳以上の方に働くことを通じて、いきがいや仲間づくりをしていただこうと、県内四十六市町に設置されています。会員の皆さんはこれまでの経験を生かした仕事をしたり、新しい仕事にチャレンジしたりと、楽しみながら元気に働いています。

**奉仕活動で地域貢献**  
**老人クラブ**  
社会参加

ルバー人材センター。仕事の分野を広げようと意欲的に活動しています。

色とりどりのアジサイが訪れる人を楽しませている喜連川町のアジサイ道路。町の観光のシンボルでもあります。九月十七日、このアジサイ道路を守り育てようと、町の老人クラブから六十五名の会員が集まり、花摘みや下草刈り、道路の清掃活動に汗を流しました。

生きがいを見つけた  
シルバー大学校

この秋、シルバー大学校を卒業した宇賀神さんにお話をききました

永年勤めた会社を退き、趣味を広げたいと思いシルバー大に入学したのですが、シルバー大では地域活動が盛んでびっくりしました。社会福祉施設の体験もあって、私の班は宇都宮市にある児童養護施設を訪れることに。これをきっかけに、この養護施設で班の仲間とボランティアを始めました。月一回ですが、折り紙やお手玉などで子どもたちと遊んでいます。子どもたちの笑顔を見ると元気がもらえるんですよ。卒業後も、生きがい推進員としてこの活動を続けていくことにしています。



宇賀神 茂夫さん(宇都宮市)

シルバー大では、本物の仲間にもめぐり会えましたし、これからの生きがいを与えてもらった気がします。学んだことを地域で生かしていきたいですね。

とちぎ  
**県民だより**  
10  
2003  
月号  
編集・発行 栃木県広報課  
平成15年10月15日発行

〒320-8501 宇都宮市鳩田1-1-20  
TEL 028-623-2192 FAX 028-623-2160  
栃木県のホームページ <http://www.pref.tochigi.jp/>

栃木県の人口 [9月1日現在]  
2,011,451人(前月比+797人、前年同月比+1,031人)  
◎男998,734人 ◎女1,012,717人 ◎世帯数695,738世帯  
栃木県毎月人口推計速報

**学ぶ、働く、社会参加**  
**地域でかがやく**  
**シルバーパワー**

世界一の長寿国「日本」。本県でも、二〇一五年には一人が六十五歳以上の高齢者になると予測されています。県では、高齢者の皆さんがそれぞれの力を生かす地域で活躍できるようにいきがいを支える活動を応援しています。

とちぎ生きがいづくりセンター  
県北支所がオープンしました!



矢板市矢板54(市立図書館南側)

◎シルバー大学校北校と  
県北介護研修センターの  
2つの施設で構成されています

「ふくらむ夢ここから出発」  
～シルバー大学校北校 ☎0287-43-9010

○10月から第25期生が入学します  
○県内には他に中央校(宇都宮市)と南校(栃木市)があります

「介護知識・技術の情報発信地」  
～県北介護研修センター ☎0287-43-3810

○介護や福祉用具などについて体験しながら学べます  
また、介護入門講座や介護指導者研修なども開催  
○福祉用具の展示・相談も常時行います。理学療法士や作業療法士による福祉用具専門相談もあります



# みんなので支えあい 安心して暮らせる地域社会を

## 介護サービスの充実をすすめています

介護保険制度がスタートして三年半が経過しました。介護サービスを利用する人や介護サービスの種類も増えており、介護保険制度は介護を支える大きな柱となっています。介護が必要な高齢者へのサービスは大きく分けて二つ。ひとつは、住み慣れた地域での暮らしを支える在宅サービスで、ホームヘルプや通いながら介護を受けられるデイサービスなどがあります。もうひとつは、在宅が困難な方が特別養護老人ホームなどで介

護を受けながら生活できる施設サービスです。県では、サービスを受けたい方がいつでも利用できるような、これらのサービスの充実や施設整備などをすすめています。

また、高齢者が安心して暮らすためには、制度や施設の整備だけではなく、地域全体で支えあっていくことも重要だと考えています。ここでは、高齢者福祉を支えるボランティアの皆さんの活動をご紹介します。

## 一人ひとりに家庭の味を

ひとり暮らしなどで支援が必要な高齢者に対し、病院などに外出する際の送迎や、寝具類の洗濯、理美容の訪問サービスなど、県では、地域支援合い事業として様々なサービスを提供する市町村を支援しています。その中のひとつ、高齢者の自宅にお弁当を届け

配食ボランティア

る「配食サービス」は、栄養のバランスのとれた食事の提供や安否の確認のため、県内で二十七の市町村で取り組まれています。

西方町に住む大森三枝さんは、調理師の仕事で退職した後、配食サービスの調理補助ボランティアを始めました。「一人ひとりの好みにあったお弁当づくりをお手伝いしています。家庭の味をお届けしたいですね」と話す大森さん。

西方町社会福祉協議会では「ボランティアの方々には調理師のサポートをしていただき本分に助かってます。こうした事業は地域のボランティアの方々の力で支えられていますね」と期待しています。



調理師の方と大森さん(右)「衛生面には特に気を付けています」

## 地域に広がる助け合いの心

鹿沼市内の「無量荘」は、小規模で家庭的な雰囲気大切にされた地域密着型のデイサービスセンター。一日平均十数名の方が無量荘で思い思いに過ごしています。

鹿沼市立板荷中学校では、週に一度放課後ボランティアとして無量荘を訪問。七、八名が班をつくり、一緒に手作りゲームで遊んだり、漫才や踊りを披露したりしています。「中学生たちは毎回工夫を凝らしてくるので皆さん心待ちにしています」と無量荘の職員。

板荷中学校の先生は「高齢

放課後

ボランティア



者との交流活動を通じて、自分が社会に役立っているという実感が生まれ、社会とのかかわりの中で生きていくという自覚にもつながっていくのではないのでしょうか」とボランティアの効果を話します。無量荘を利用している方は「この中学生は、我々が困っているところでも親切にしてくれる。きっとここに来てくれるからだね」と話します。学校の活動が地域にも広がっています。



この日はトイレットペーパーの芯で車のおもちゃを作りました。上手に走らせると歓声があふきます

板荷中学校の皆さん「いつも喜んでくれるので、とてもやりがいがあります。マンネリにならないよう工夫しています」

## 清掃

ボランティア

## 緑の下の力持ちに徹しています

竹内 敏雄さん(壬生町)

もともと福祉関係の職場で長く働いていたので、福祉の仕事にかかわってみたいと思っていたところ、近所に「のぞみホーム」という小規模多機能ホームがあったのでボランティアを申し出ました。

ここで職員と利用者が密にかかわっている姿を見て、自分のすべきことは、職員がやっている雑用を出来るだけ減らせるようにすることでと感じて、部屋の掃除や草むしりなどを行っています。直接のお手伝いではありませんが、少しでも助けになればと思っています。



のぞみホームの利用者の方と(右端が竹内さん)

「小規模多機能ホーム」…利用者の家庭の事情や身体状況の変化などに、柔軟に対応するため、ホームヘルプやデイサービスなどの各種サービスを複合的に提供している小規模施設が一般的にこう呼ばれています。

一口メモ

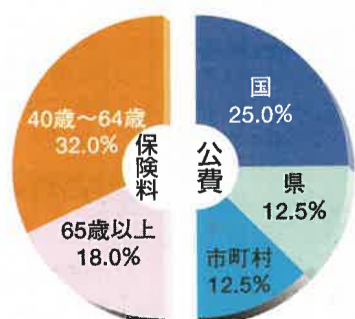
◇問合せ 県高齢対策課 TEL 028-623-1304

## 平成15年度から介護保険料が見直されました

- 介護保険制度は、3年ごとに事業計画の見直しが行われ、保険料についても今年の4月から改定されています。
- 年金から天引きされる方は10月から保険料額が変更となっています。
- 介護サービスの利用者やサービスの量が増えているため、保険料はほとんどの市町村で上がっています。介護保険制度は皆さんの税金と保険料で支えられている制度です。詳しくはお住まいの市町村の介護保険窓口にお問い合わせください。

### 介護保険財源内訳

～皆さんの税金と保険料で成り立っています～



## とちぎ権利擁護センター(愛称:あすてらす)

～あなたの安心を応援します～

痴呆のある高齢者、知的または精神に障害のある方等で判断能力が十分でない方の権利や財産を守るお手伝いをしています。ご相談のうえ、契約を結び、サービスが開始されます。

例えば…福祉サービス申込手続きの代行・同行などのお手伝い

貯金の出し入れ、公共料金の支払い、年金などの受領確認など

- お問い合わせは、お気軽にお住まいの市町村社会福祉協議会または栃木県社会福祉協議会(☎028-621-1234)へご本人が「あすてらす」の契約を結ぶことが困難な場合は、成年後見制度を利用し、契約することもできます
- 成年後見制度とは、家庭裁判所が後見人等を選任した上で財産管理等、様々な契約ができる制度です
- 無料相談会も開催されています(右欄参照)

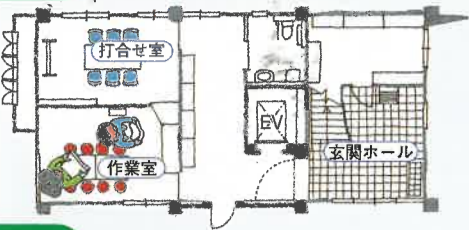
### 成年後見制度の無料相談会

- 日時 毎月第2日曜日 午前9時30分～午後0時30分
- 場所 とちぎ福祉プラザ404会議室
- 主催 (社)成年後見センターリーガルサポートとちぎ 成年後見センターばあとなあとちぎ
- 問合せ とちぎ福祉プラザ ☎028-623-0810



## 「ぽ・ぽ・ら」の主な機能

### 1F



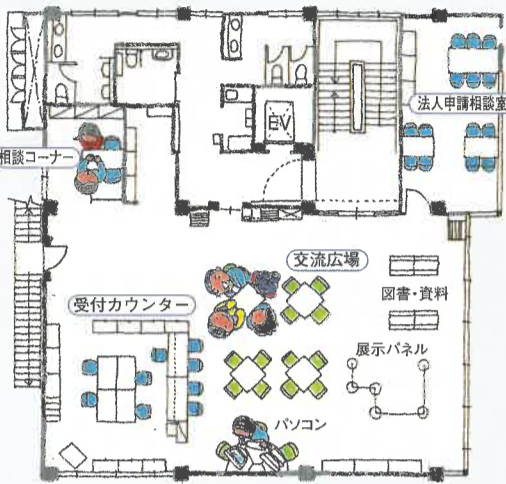
#### 作業室

印刷機・コピーを利用(有料)して資料作成等ができます。紙折機などもあります。

#### 打合せ室

6~8人程度の打ち合わせができます。

### 2F



#### 受付カウンター

施設利用登録の受付や申込み予約などを行う、「ぽ・ぽ・ら」の総合窓口です。お問い合わせもお気軽にどうぞ。

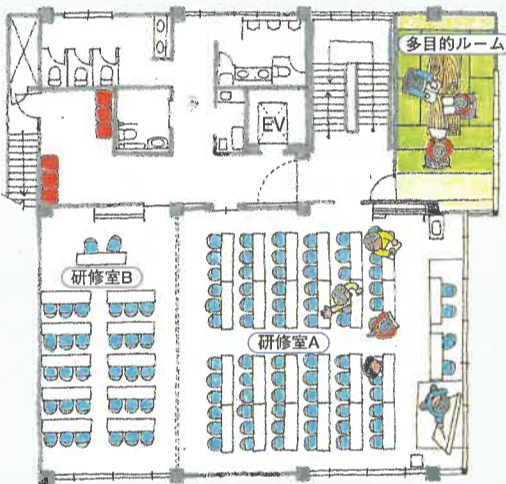
#### 交流広場

書籍や各種資料の閲覧、パソコンの利用、チラシやパンフレットの展示などができます。交流テーブルは簡単な打合せなどにもご利用ください。

#### 法人申請相談室

NPO法人の認証申請に関する相談を県文化振興課の職員がお受けします。事前に予約(☎028-623-3422)をお願いします。

### 3F



#### 研修室

研修室A(70名定員)と研修室B(30名定員)があります。AとBは合わせて使うこともできます。社会貢献活動に関する研修・交流会の会場としてご利用になれます。

#### 多目的ルーム

畳敷きの和室です。研修会開催時に託児室や控室などにもお使いください。

十一月七日、「とちぎボランティアNPOセンター」がオープンします。このセンターは、ボランティアやNPOの活動など、県民の皆さんの社会貢献活動を支援する「人と情報の交流拠点」です。愛称は「ぽ・ぽ・ら」。ボランティア活動がしたい、NPO法人をつくりたい、こんな活動をしている団体を紹介してほしいなど、社会貢献活動に関する様々な相談に応じたい、交流や情報交換が自由にできる場などを提供したりします。社会貢献活動に関心のある皆さん一人ひとりを応援して行きますので、ぜひ、お気軽にご利用ください。

## みんなが元気になれる場所に

「社会貢献活動に参加してみたい」と思っている方も、そのきっかけがつかめない方が多いのではないのでしょうか。また逆に、ボランティアさんがなかなか見つからないということも。誰もが気軽に訪れて、様々な人と交流できたり、相談できたり。「ぽ・ぽ・ら」は、多くの人と情報が自由に行き交う場所、みんなが元気になれる場所にしていきたいですね。皆さんのお越しをお待ちしています。



「ぽ・ぽ・ら」の管理・運営にあたる栃木県NPO協会会長の荒川恒昭さん

# はじめまして! 「ぽ・ぽ・ら」です とちぎボランティアNPOセンター 11月7日オープン!



## 利用案内



- 開館時間 午前9時30分~午後9時  
※日曜・祝日は午後5時まで
- 休館日 毎週月曜日、年末年始  
※ただし月曜が休日の時はその翌日
- 利用に当たって  
事前申込みや利用登録が必要なサービスもあります。詳細はお問い合わせください
- 住所 宇都宮市昭和2丁目2番7号
- TEL 028-623-3455

## オープニングイベントを開催します!

- 記念講演 「新しい協働に向けて」  
講師 山岸秀雄さん(NPOサポートセンター理事長)
- 11月7日(金)午前11時10分~

## カラダにとちぎ

地産地消 地元の恵みを地元で食べよう!



http://www.tochigipower.com

### 今月のおいしい食材

#### 米 (コシヒカリ)

新潟に次ぐ流通量を誇る栃木のコシヒカリは、そのおいしさにも定評があります。おいしいお米をおいしく食べて、あなたもお米の達人に!

#### ◎お米のおいしい食べ方

- ・お米は鮮度が肝心。精米日を確認して春は1ヶ月、夏は2週間、冬は2カ月を目安に、食べきる量を購入しましょう
- ・米とぎは水の中にお米を入れてさっとかき混ぜたら、すぐに水を捨てる。2、3回繰り返したら、あとはリズムカルにとぎます
- ・炊きあがったら15分蒸らしてから全体をさっくり混ぜます。余分な水分が飛びご飯がおいしくなります

### とちぎの米を使って たきこみごはん

〈材料〉(1人分)  
米180cc、もち米45cc、舞茸70g、しめじ70g、  
タケノコ水煮50g、銀杏25g、薄口醤油大さじ2、  
酒小さじ1、みりん大さじ2、だし汁250cc、  
白ゴマ・みつば各適宜

#### 〈作り方〉

- ①米ともち米をとぎ、7~8時間水にひたす
- ②きのこは湯通ししてアクをとり、醤油・酒・だし汁で煮て取り出しておく
- ③米にタケノコ、銀杏を加え、②のきのこの煮汁で炊く
- ④炊きあがったごはんを②で取り出しておいたきのこを合わせる
- ⑤白ゴマとみつばを散らしたら出来上がり



協力: 栃とちぎ農産物マーケティング協会



## ★県政トピックス

### Topics 1 両陛下が御視察・御放鳥



放たれたのは、県民の森で救護したキジバトのほか増殖されたキジ、ヤマドリなど九羽です

天皇、皇后両陛下はご静養のため、九月十二日から十六日まで那須御用邸に滞在されました。十二日、西那須野町で農業を営む高松勝雄さん宅を訪問され、養液栽培トマトハウスを御視察されました。また、十六日には、けがや病気で保護された鳥などを自然に帰す「御放鳥」をされました。

### Topics 2 知事が若い世代と語り合う「とちぎトーク21」開催



福田知事と語りあう参加者たち。知事から「とちぎ将来構想」についての講話もありました

九月二十八日、宇都宮市にあるとちぎ青少年センターで栃木の今や未来について若い世代の方と知事が語りあう「とちぎトーク21」が開催されました。当日は、二十名の参加者から高校再編、環境に配慮した交通施策などについて意見が出され、活発な議論が行われました。

### Topics 3 県庁舎本館を一般公開



2日間で約2,000人が来場。65年間親しまれてきた県庁舎本館の最後の姿を惜しまれました

九月十九日と二十日、永年親しまれてきた県庁舎本館の解体・移築工事を前に見学会が開催されました。公開されたのは正庁、旧貴賓室、旧議場、知事室です。天井や壁には植物の葉やツタを模したデザインなどの装飾が施されており、訪れた方の目をひいていました。県庁舎本館は今後一部が移築され「県勢資料館(仮称)」として保存、活用されます。





シユウメイギク(キンポウゲ科)

漢字で「秋明菊」と表記しますが、原産国の中国では「秋牡丹」と言うそうです。ちなみに英名は「ジャパニーズアネモネ」。

ウォッチングポイント

鮮やかな秋の花として庭や公園に多く植えられています。花期が長く10月下旬までが見頃です。



森の集い「好評! リース&バスケット」

- 樹木の成長を阻害するツルを採り、リースやバスケットをつくってみよう
●①10/29(水) ②11/13(木) ③11/26(水) ④12/20(土)
※④は親子で参加できる方が対象
●定員 各回先着20名 ●参加無料
■県民の森管理事務所 ☎0287-43-0479

とちぎ花センターの催し

- ◎秋のフラワーフェスティバル
●10月18日(土)・19日(日)
●プランターコンテスト作品や創作ミニガーデンの展示ほか、楽しいイベントが盛りだくさんです。ぜひご来場ください
●入場無料(観賞大温室のみ有料)
■とちぎ花センター ☎0282-55-5775

11月の唐沢の森と遊ぼう

- 秋の味覚で昼食づくり。小枝や木の実を利用したクラフト活動の後、夜のキャンドルサービスを楽しもう
●11月1日(土)～2日(日) 1泊2日
●対象 小・中学生
●定員 先着50名
●参加費 3,500円
■唐沢青年の家 ☎0283-22-2543

海浜自然の家で冬の海を体験しよう

- 冬の海や日の出の美しさなどを体験。干物づくり、貝殻細工などもできます
●第1回12月6日～7日(11/21締切)
●第2回12月13日～14日(11/28締切)
●第3回 1月10日～11日(12/19締切)
※いずれも土・日曜、1泊2日
●定員 各回先着15家族程度
●参加費 幼児2,100円～大人6,000円
■とちぎ海浜自然の家(茨城県旭村) ☎0291-37-4004

ふるさと栃木フェア2003

見たい? 食べたい! 遊びたい! ふるさと栃木
●県内特産品の展示・販売や観光等の紹介、農産物販売、ふるさとの味提供など。ふるさと「栃木」の魅力味わおう!
●10月24日(金)・25日(土)・26日(日)
※午前10時～午後5時(26日は午後4時まで)
●会場 マロニエプラザ
●入場無料
●JR宇都宮駅東口から会場まで無料シャトルバスを運行します
■県観光課 ☎028-623-3305

文化情報 子ども総合科学館

- 児童館フェア「わいわい遊びの屋台村」10月18日(土)・19日(日)午前10時～午後3時30分
●県内の児童館が大集合! 工作や遊びの屋台で楽しみましょう
●星をみる会 11月1日(土)午後7時～ ●みなみのうお座をさがそう
●ミニ工作室「コマを作って遊ぼう」11月8日(土)①午前11時15分～②午後2時15分～ ●定員 小学生以上各回30名 ●ボール紙を重ね合わせて簡単にカラフルなコマをつくります
●科学技術コンクール「チャレンジ・トゥ・ザ・リミット」中学生部門11月8日(土)、高校生部門11月15日(土) ●県内中高生が自作のメカ(車両)で白熱の競技を繰り広げます

文化情報 県立美術館

企画展「鉄道と絵画」一夢はこぶモダン列車 11月1日(土)～12月23日(祝・火)
●鉄道が発明された19世紀イギリスを皮切りにフランスやアメリカそして近代日本まで、鉄道にかかわる絵画・版画・写真・ポスター約200点で、鉄道の文化的社会的意味を探る
「旅の道連れ」オーガスタス・エッグ 1862年 パーミンガム市立美術館蔵

◇11月3日「文化の日」は、無料観覧日です。ぜひご来館ください

文化情報 県立博物館

企画展「ものが語る人と文化」一ミュージアム・コレクション再発見 11月24日(祝・月)まで
●開館以来収集してきた人文系コレクションの中から、えりすぐりの資料を一堂に展示します
●ひとつひとつの資料(もの)が語ってくれる人と文化の世界をお楽しみください
●定時解説 毎日午後2時～
●解説員が企画展を案内します

文化情報 県総合文化センター

チェン・ミン ニ胡コンサート 10月31日(金)午後6時30分開演
●チェン・ミンが奏でる気品あふれる美しい二胡の響きをお楽しみください ●好評発売中
●ブロードウェイ・ミュージカルカンパニー 11月1日(土)午後4時開演 ●世界中で愛されているミュージカルの名曲、名シーンをオーケストラ・歌手・ダンサーらがハイライトでお贈りします ●好評発売中

栃木県のお知らせ

身体障害者用駐車場 身体障害者用トイレ

募集

- 知事と話してみませんか! とちぎふるさとづくりフォーラム参加者募集
●県政について日頃感じていることなどをお聴かせください ●対象 県内に在住・通勤・通学する満18歳以上の方
●第4回・黒磯市開催 11月8日(土)午後1時30分～ ●ノワールリヴァージュ鹿島館
●第5回・真岡市開催 11月30日(日)午後1時30分～ ●山王会館
●申込み 住所・氏名・年齢・電話番号・性別・職業(学校名)・託児(就学前)の希望の有無を、電話・FAX・Eメールで
■県広報課 ☎028-623-2158 FAX 028-623-2160
E kocho@pref.tochigi.jp

- 「愛パークとちぎ」に参加しませんか
●県民の皆さんに県営都市公園内の清掃や植栽などの維持管理作業にご協力いただく「愛パークとちぎ」がスタートしました ●ボランティアとして登録いただける団体・企業等(10人以上)を募集します ●登録団体には作業物品の提供などを行います ●詳細は問合せを
■県都市施設課 ☎028-623-2474

- 県北高等産業技術学校短期訓練生の募集
●対象 離転職者 ●訓練科目・期間 会計・労務管理科・12月2日～平成16年2月27日 ●募集期間 11月10日(月)まで ●詳細は問合せを
■同校(那須町) ☎0287-64-4000

- JICA(国際協力機構)ボランティア
◎秋募集 ●あなたの技術・経験・情熱を開発途上国でいかしてみませんか ●対象 満20～39歳の方 ●募集期間 11月16日(日)まで ●募集分野 農林水産・加工・保守操作・土木建築・保健衛生・教育文化・スポーツ ●派遣期間 原則2年 ●募集説明会を開催します(10/26宇都宮・10/30小山・11/7足利) ●詳細は問合せを
■県国際交流課 ☎028-623-2198

催し・講座

- 下水道フェスティバル
●各浄化センターで施設の公開や楽しいイベントを開催します ●入場無料 ●詳細は各センターへ問合せを
◎巴波川浄化センター(栃木市) ☎0282-22-5322
●10月23日(木)午前10時～午後1時
◎県央浄化センター(上三川町) ☎0285-53-6104
●10月25日(土)午前10時～午後1時30分

- ◎大岩藤浄化センター(藤岡町) ☎0282-62-0600
●11月1日(土)午前10時～午後1時

- 岡本台病院ふれあいまつり
●10月25日(土)午前10時～午後3時 ●会場 同病院(河内町) ●模擬店、バザー、茶会、フリーマーケット、アルコールセミナーほか ●入場無料 ●同病院 ☎028-673-2211

栃木県警察音楽隊定期演奏会

10月25日(土)午後1時30分開演 ●県総合文化センター(宇都宮市) ●さまざまなジャンルの音楽に、高校生のチャイロディンギやバトントワリングをお楽しみください ●入場無料 ●当日直接会場へ
■県警察本部広報広聴課 ☎028-623-3777

県立図書館の催し

- ◎文芸講演会 11月21日(金)午後2時～ ●県総合文化センター(宇都宮市) ●講演「恋するところが女を創る」唯川恵さん(作家) ●参加無料(要整理券) ●定員 先着300名 ●整理券の申込みはお近くの図書館・公民館へ
◎栃木県読書グループ大会 11月21日(金)午前10時～午後3時30分 ●同図書館 ●唯川恵著「肩ごしの恋人」をテキストにグループに分かれ読書会、午後は文芸講演会へ参加 ●参加無料 ●定員 先着50名 ●申込締切 10月30日(木)
■県立図書館 ☎028-622-5113

木造りの家ノウハウ習得講座

- 11月2日(日)午前9時～午後4時 ●建築現場を見学しながら木造住宅の特徴などを専門家が解説します ●県北・県央・県南の各地域で開催 ●受講無料 ●定員 各先着50名 ●申込締切 10月24日(金) ●詳細は問合せを
■栃木県木材需要拡大協議会 ☎028-652-3687

男女共同参画地域連携フォーラム

- ◎共に歩もう女と男のハーモニー 11月6日(木)午後1時～4時 ●佐野市文化会館 ●沖藤典子さん(作家)の講演「女と男、ともに創ろう、ともに生きる人生」ほか
◎もっと仲よく暮らすために女と男 11月15日(土)午後1時～4時 ●鹿沼市民文化センター ●パネルディスカッション「わたしたちは、今」ほか ※いずれも参加無料 ●託児あり(要予約) ●手話通訳あり ●参加申込みは事前に電話・FAXで ●県女性青少年課 ☎028-623-3074 FAX 028-623-3150

第2回産学官連携フォーラム

- 11月6日(木)午後1時30分～6時10分 ●県産業技術センター(宇都宮市) ●講演「産学官

の連携交流が生み出すビジネスチャンス」及びパネルディスカッション ●受講無料 ●定員 先着150名 ●申込締切 10月24日(金)
■県商工振興課 ☎028-623-3203

建設業者講習会

- ①11月4日(火) ●県総合文化センター(宇都宮市) ●②11月7日(金) ●那須野が原ハーモニーホール(大田原市) ●③11月11日(火) ●おおひら町民ホール(大平町) ※いずれも午後2時～3時30分 ●労働災害防止、入札参加資格申請追加受付についてほか ●対象 建設業関係者 ●当日直接会場へ ●県監理課 ☎028-623-2390

パーティの講座

- ◎トークイントーク 11月15日(土)午後1時30分～3時30分 ●テーマ 「私流」生きること、働くこと ●講師 残間里江子さん(プロデューサー)、西山昭彦さん(東京ガス都市生活研究所長) ●受講無料 ●託児・よみがたりあり(要予約) ●定員 378名 ●申込締切 10月28日(火) ●とちぎ女性センター ☎028-665-7706

案内

臓器移植街頭キャンペーンのお知らせ

- 10月19日(日)午前11時～午後1時 ●宇都宮市オリオン通り献血ルーム前、パルコ西口 ●臓器提供意志表示カード配布や腎臓病等の無料医療相談などを実施します ●ぜひお立ち寄りください ●県健康増進課 ☎028-623-3086

母子家庭等実態調査にご協力を

- 11月1日現在で母子家庭等を対象に調査を実施します ●この調査結果は県の母子福祉施策の参考としていきます ●調査対象のご家庭に調査票を郵送しますので、ご協力ください ●県児童家庭課 ☎028-623-3067

あなたが飼っているのは野鳥ではありませんか?

- 許可を受けずにメジロやオオルリなどの野鳥を飼うのは違法です ●野鳥を捕まえたり売ったりしているのを見かけた時は、林務事務所または県自然環境課 ☎028-623-3261へご連絡ください

犬の飼い主の皆さんへ

- 犬は家族の一員としてきちんとしつけ、周りに迷惑をかけずに飼いましょう ●犬のしつけ方に関する相談は県動物愛護指導センター ☎028-684-5458へ、犬の登録・狂犬病予防注射については各市町村へご相談ください

朝鮮半島・台湾出身の旧軍人・軍属等であった方とその遺族の方へ

- ◎ご存じですか? 弔慰金等が支給されています ●遺族への弔慰金260万円、重度戦傷病者への見舞金400万円 ●請求期間は平成16年3月31日までです ●お心あたりの方はお問い合わせください ●県高齢対策課 ☎028-623-3054

Table with 3 columns: なるほどとちぎ (毎週土曜日 9:00~9:45), 県政ひとくちメモ (毎週木曜日 18:20~18:25頃), とちぎ教育新事情 (毎週土曜日 17:30~17:50), とちぎかわら版 (毎月金曜日 8:10~12:05~21:55~)

information とちぎテレビ 県の広報番組
クローズアップとちぎ 10月19日 マロニエ建築賞 26日 環境にやさしい農業 11月2日 とちぎの経済活性化に向けた 9日 人と自然の共生のために